

酒田っ子

すくすく

第144回



子育て講座

東北公益文科大学名誉教授
國眼 眞理子 先生

「ダメ!」「やめなさい」

トモちゃんは、弟のママちゃんがかわいくて仕方がありません。ママに抱っこされているときでも、始終ママちゃんの手を握ったり、足をなでたり笑わせたりします。この間買物に行つたときにママちゃんをかまっていたら、ママから「やめて!」と言われました。トモちゃんはすぐに、ママちゃんから手を離れたのですが、その後しばらくして、またママちゃんの手を握っていたら「さつき、やめてって言ったでしょ!」と、トモちゃんは叱られてしまいました。正直なところ、トモちゃんは初めにママから「やめて」と言われたとき、何をどうすればいいのか、わかっていませんでした。ママからすれば、抱っこして

いるママちゃんをトモちゃんがかまうと、買い物カートを押しにくかったり、歩きづらかったりしたためだったのです。

「ダメ!」「やめなさい」。これは、大人が子どもを叱ったり、注意したりするときにとっさに口にするセリフです。もちろん、命に関わるような事態や、危険が迫っているときは、まず止めることが大切なので、効果的です。

でも普段、やめてほしいことや避けてほしいことを伝えるときにはどうでしょう。「ダメ」「やめなさい」だけよりも「ちょっと待って」「こうしてくれればいいな」と言う伝わりやすいのではないのでしょうか。

そして「その場」で、なぜダメなのか、その訳を具体的に伝えると、子どもなりに納得しますし、大人が注意したり制止したりすることも減ると思います。

ただあくまでも「その場」が大切です。後から「あのときこうしてほしかったな」と言っても、子どもにとつて「あのとき」の記憶はすでに霧のかたです。

日本海と大地がつくる 水と命の循環

鳥海山・飛鳥ジオパーク

リレーコラム

圏交流観光課観光戦略係
☎26-575759

第126回

梅雨末期の集中豪雨に注意

東北地方北部の梅雨明けは、例年であれば7月末ごろです。梅雨の末期には勢力を増した太平洋高気圧から暖かく湿った空気が大量に梅雨前線に流れ込み、強い雨雲が発達しやすくなります。特に、同じ場所で発生・発達し続けた雨雲が風で流され、線状に並ぶ線状降水帯と呼ばれる現象は、限られた地域に大量の雨を降らせ続けるため、豪雨災害の要因の一つとされています。前線だけでなく台風との接近に伴って発生することもある線状降水帯は、大気中の水蒸気量の減少や、風向きの変化によって雨雲の発生場所が移動するまで数時間出現し続けることもあります。

令和6年7月25日、秋田県由利本荘市から酒田にかけて線状降水帯とみられる現象が発生しました。気象庁によれば、この日観



▲増水した河川。大雨時は河川には近づかないでください。

測された24時間降雨量は由利本荘市矢島で210ミリ、酒田市大沢で356ミリに達し、平年の7月1か月間に降る雨とほぼ同じか、それよりはるかに多い雨が、わずか1日で降りました。

大雨・洪水警報は今後大雨や洪水が発生したり、その状況が続いたりすることを伝える「警告」です。警報が出たら安全を確保しつつ速やかに避難するか、別の場所への避難が難しい場合は頑丈な建物の高い場所に移動するなど、身の安全の確保に努めてください。



一般社団法人鳥海山・飛鳥ジオパーク
推進協議会事務局
次長兼主任研究員
大野 希一氏